

## 1 研究の概要

### (1) 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校社会科の授業の質的改善

### (2) 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた小学校社会科の授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業を見直し質的改善につなげるための方法を提案する。

### (3) 研究方法

- ア 小学校社会科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究及び実態調査
- イ 理論研究及び実態調査を踏まえた授業改善の視点と手立ての策定
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図り、構想した授業の実践
- エ 授業実践を通じた児童の変容の分析・考察
- オ 授業改善の視点と手立ての有効性の検証

### (4) 研究内容

- ア 小学校社会科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究を行い、児童の実態を調査します。
- イ 理論研究と児童の実態を基に、従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直し、児童の実態に応じた改善の手立てを探ります。
- ウ 従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点で見直しを図り、授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校で検証授業を行います。
- エ 検証授業及び単元全体を通じた児童の変容を分析・考察し、改善の視点や手立ての効果を検証します。
- オ 授業改善の視点と手立てを一般化し、汎用性のあるものにして、質的改善を図るための方法を明らかにします。

### (5) 1年次の成果と課題

#### ア 研究の成果

- ・日々の授業をどのような視点で見直し、どのように改善していけばよいのか、その手立ての一案として「手引き」を作成することができました。
- ・文献調査や研究委員の実践の考察結果を基に、求められている三つの資質・能力について明らかにすることができました。

#### イ 研究の課題

- ・「手引き」については、今後も実践を積み重ねながら、より妥当性のある内容にしていく必要があります。また、若手教員から経験豊富な教員まで、使い勝手の良い「手引き」になるように改良を図っていく必要があると考えます。
- ・今後、育成すべき資質・能力に基づいた評価の在り方について、文部科学省から考えが示される見込みです。それを受けた上で、具体的な評価方法についても研究を進める必要があります。